

## ○道徳授業地区公開講座

令和2月13日(土)から2月19日(金)の間にかけて、各学級で道徳授業を行いました。

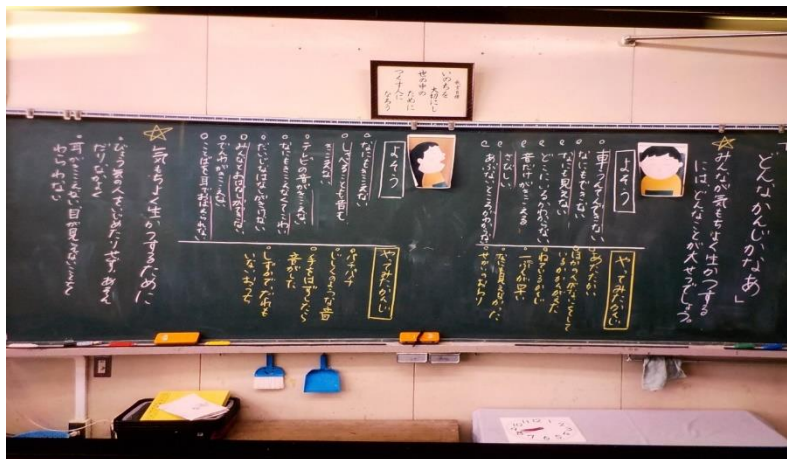
### 【1年生】

- 1 主題名 どんなかんじか考えよう B親切・思いやり
- 2 教材名 「どんなかんじかなあ」(出典：自由国民社)
- 3 ねらい

様々な立場の人がいることを知り、その人の気持ちを想像し、疑似体験することを通して、誰に対しても優しくしようとする心情を育てる。

#### 4 教材について

体の動かない主人公が、目が見えない人、耳が聞こえない人と出会い、その人の身になって考えていく。相手の身になって考えるとは何か。想像だけではなく、体験してみることが大切である。すると、別の視点が開けてくる。子どもたちと読みながら体験することを通し、障害がある人や親がいない人など、様々な立場の人の気持ちに寄り添い、優しくしていこうとする気持ちを育てたい。



### 【2年生】

- 1 主題名 せかいのことを知ろう C 国際理解、国際親善
- 2 教材名 「日本のお米、せかいのお米」(光村図書)
- 3 ねらい

普段食べている料理の中に、他国から伝わってきた料理があることを知ることで、他国に興味をもち、他国に親しもうとする心情を育てる。

#### 4 教材について

これからの社会は、今まで以上に海外の文化に触れる機会が多くなることが予想される。そのため、子供たちが海外の文化を受け入れ、共生していこうとする心、すなわち、国際理解や国際親善の心をもつことが必要であると考えます。

本教材は、お米がほかの国から伝わってきたことや、ほかの国にはいろいろなお米を使った料理があることを知った「わたし」がさまざまなお米の料理を調べる姿が描かれている。この教材を通して、普段の自分の生活の中で、他国のどんなものと接しているかに気付くことで、他国に興味をもち、他国に親しもうとする心情を育てたい。



### 【3年生】

- 1 主題名 他国の人となかよくなるために C国際理解・国際親善
- 2 教材名 「マサラップ」
- 3 ねらい

外国語指導助手と交流する「ぼく」の姿を通して、他国の人と仲良くなるために大切なことについて考えさせ、他国の文化に関心をもち、それらの文化に親しもうとする心情を育てる。

#### 4 教材について

本教材の主人公「ぼく」は、児童と同じ小学校3年生で、フィリピンから日本にやって来たリサ先生との出会いを楽しみにしている。リサ先生の歓迎給食の日の前に、母とインターネットでフィリピンについて調べ、日本と違うところがたくさんあることに興味を高めていった。

歓迎給食の当日、「ぼく」は、調べたフィリピン語で、思い切ってリサ先生に話しかける。リサ先生がとても喜んでくれたことで、「ぼく」はもっとフィリピンのことを調べたくなる。

本授業では、日本の生活と異なる外国の文化にふれることを楽しみ、さらなる興味・関心を抱く主人公の気持ちに共感させながら、国際理解に関する意識を高めたい。

### 【4年生】

- 1 主題名 あきらめないで A希望と勇気、努力と強い意志
- 2 教材名 「字を書きたい！」(出典：星野富弘『ありがとう私のいのち』学研プラス)
- 3 ねらい

星野富弘さんの生き方を通して、夢や目標をもつことの大切さについて考えさせ、目標に向かって諦めずに粘り強くやり抜く強い意志をもとうとする心情を育てる。

#### 4 教材について

本教材(資料)は、花の詩画集で知られる星野富弘さんの生き方と作品を基に作成した独自の教材である。星野さんは不慮の事故で首から下の自由を失った。ある時、入院中に仲良くなったT君を励ますために寄せ書きを頼まれる。口にペンをくわえて書こうとするがうまくいかない。「口で字を書きたい」と目標に向かって、壮絶な努力の日々が始まる。

4年生から5年生への時期を迎えた子供たちは、日々の学習の中で自分の得意なことと苦手なことが自覚できる時期に入ってきている。星野さんの生き方を通して困難な状況にぶつかったときの心情を自分と重ねてみたり、それを乗り越えて作り上げられた作品に対する考えを話し合ったりすることで希望をもって生きることの大切さや、強い意志を育てたい。

## 【5年生】

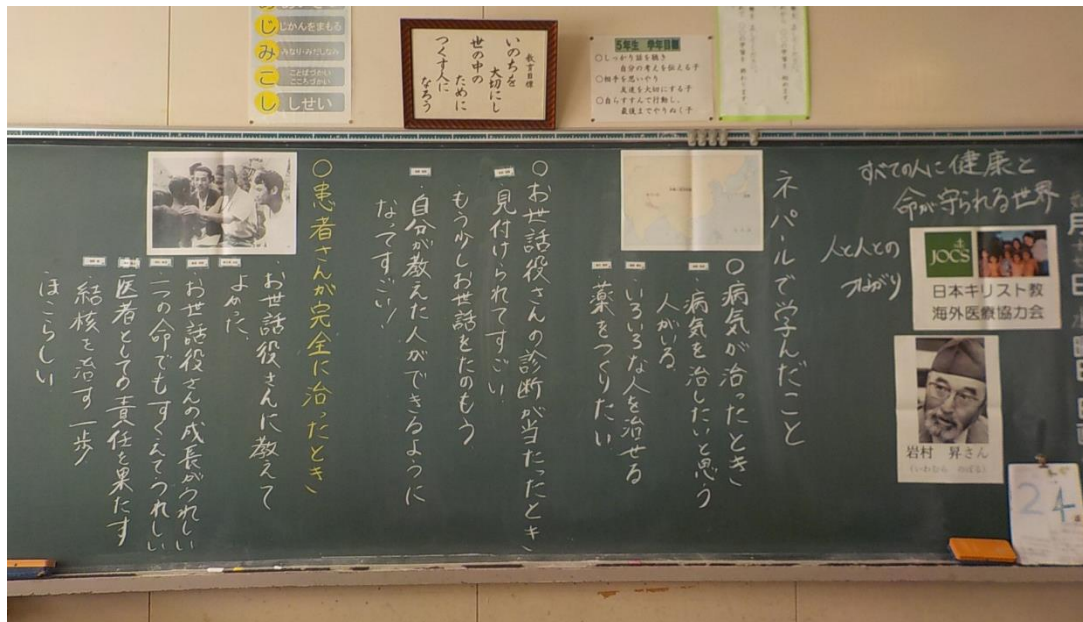
- 1 主題名 国境を越える思いやり C国際理解・国際親善
- 2 教材名 「ネパールで学んだこと」(出典：ぶんけい)
- 3 ねらい

国境を越えて協力し、親善に努めた岩村昇さんの医療活動について知り、その思いについて考えることを通して、国と国とが力を合わせて互いに助け合うことの大切さに気付かせる。

### 4 教材について

岩村昇さんは、キリスト教海外医療協力会からネパールに派遣され、医師として働いていた。当時のネパールには結核患者が多く、国民の平均寿命は37歳だった。ネパールの結核をなくすために、岩村さんは現地の人々と協力して医療活動に励んだ。この教材はその時の記録になっている。

互いに思いやりの心をもって接することは、国と国とがよりよい友好関係を築く上で非常に大切なことである。本教材を通して、国と国とが互いに歩み寄り、支え合うことの尊さについて考え、協力し合おうとする態度を育てたい。



## 【6年生】

- 1 主題名 大切な家族のために C 家族愛・家庭生活の充実
- 2 教材名 「ぼくのお姉さん」(出典：丘修三作「ぼくのお姉さん」より)
- 3 ねらい

家族を喜ばせようとする姉のことを誇りに思う主人公の気持ちを考えることを通して、家族の存在の大切さに気づき、家族の幸せのために自分ができることは何か考えようとする心情を育てる。

### 4 教材について

この資料の原作は、丘修三作「ぼくのお姉さん」である。ぼくは学校から自分の兄弟について作文を書く宿題を出される。自分よりできないことが多い障害のある姉のことを書くことをためらっていた。しかし、姉が自分の働いたお金で家族を喜ばせようと、レストランに誘い、家族が喜んでくれたのを誇りにしている姿を見て、ぼくの気持ちが変わっていく話である。障がい者が家族の一員であるという現実をありのままにとらえさせ、その家族の中で障がいのあるなしに関わら

ず温かい心の交流を感じさせたい。家族は支え合い、助け合い、深い絆で結ばれており、その中で自分の役割について考えさせ、家族の幸せのために自分には何ができるかを考えさせて行きたい。



#### 【かすみ学級低学年】

- 1 主題名 偏見なく相手に接するために C 公正・公平・社会正義
- 2 教材名 「東京2020パラリンピック ブラインドサッカー」(出典：NHK for school)
- 3 ねらい

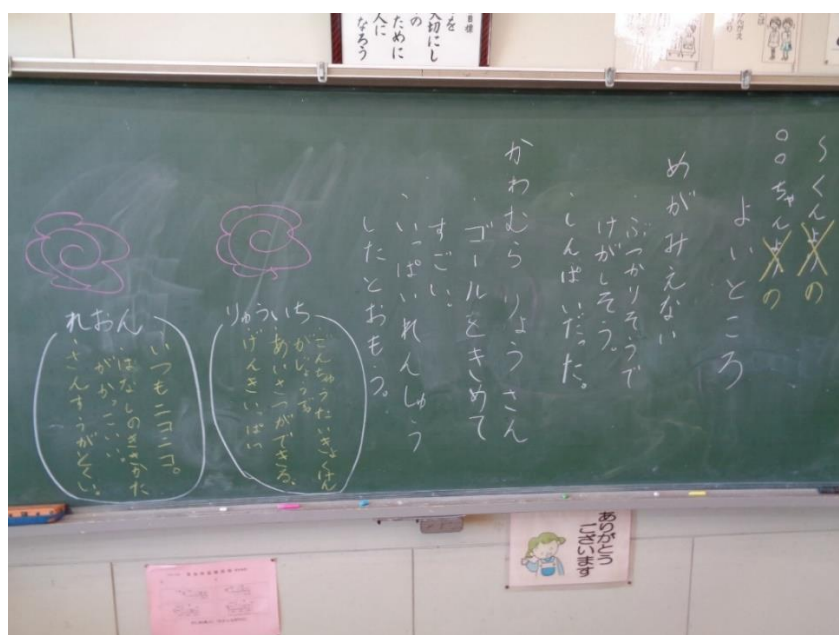
できることとできないことは誰にでもあることに気付かせ、障害や特性の有無によって人を好き嫌いすることなく接そうとする心情を育てる。

#### 4 教材について

かすみ学級の子どもたちは個性豊かであり、有する特性も一人ひとり多様である。そうした中で、集団行動に適応できずに人とは違う動きをした一場面を切り取り、相手の性格を決めつけてしまう傾向が見られる。

人は誰にでもできることとできないことがあり、感じ方や考え方は十人十色である。他人の一面を抜き出して相手の性格を決めつけようとする態度は、差別や偏見に繋がるものであり、毅然とした態度で是正する必要がある。

本時では、ブラインドサッカー選手の卓越した技術に触れさせることで、偏見から相手を決めつけるのではなく、公平・公正な態度で多角的な視野から相手のよいところを探すことによるよきを実感させたい。



### 【かすみ学級3年】

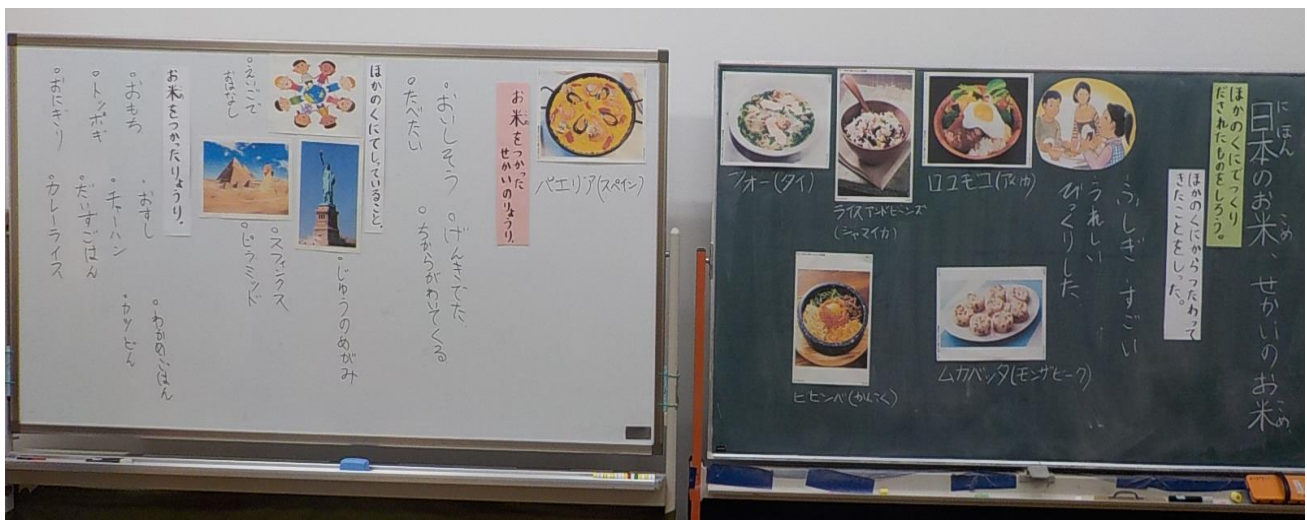
- 1 主題名 せかいのことをしろう C国際理解、国際親善
- 2 教材名 「日本のお米、せかいのお米」(出典：光村図書)
- 3 ねらい

世界のお米料理を調べ始める「わたし」の姿を通して、お米は他の国で作られ出されたことや、世界には様々なお米を使った料理があることを知り、他国の文化にも親しもうとする心情を育てる。

- 4 教材について

日々の生活の中で、お米は主食であり、切っても切れないものである。子供たちの中には、好きな食べ物や苦手な食べ物などがあるが、主食である白米は子供たち全員が好きで、給食でも残さず食べ、よくお代わりをしている。

子供たちの大好きなお米は他の国から伝わってきたことや、他の国にはいろいろなお米を使った料理がある。それらの料理には子供たちにとって親しみのある料理もあればあまり見る機会がない料理もあり、本授業を通して、他国の文化について興味や親しみをもたせたい。



### 【かすみ学級4年】

- 1 主題名 友達や仲間になるために B友情・信頼
- 2 教材名 「仲間になる魔法」(出典：NHK for School「スマイル」)
- 3 ねらい

相手の名前を覚えたり、仲間に関心をもったりすることで、相手が喜んだり、仲良くなるきっかけができたことを知る。

- 4 教材について

本教材は、特別支援教育向けに作られた10分間の番組であり、人間関係を円滑に築いたり、集団生活で決められたルールを守ったりするための手掛かりを得ることができる。

映像を通して、具体的な言動を見聞きすることができ、終盤には要点が文字として表示されるとともに、主人公が読み上げる場面があり、視覚・聴覚的に理解しやすいことから、本教材を活用することにした。

今回の学習を通して、集団活動や交流活動などで活かせる児童を育てたい。

【かすみ学級5・6年】

1 主題名 他国の人々や文化に親しもう (国際理解、国際親善)

2 教材名 「宇宙の果てからのお客様」(NHK for School)

3 ねらい

他国の人々や文化に親しもうとする心情を育てる。

4 教材について

国際理解とは、体験を通して我が国の伝統や文化との関わりを考えながら、外国の人や文化に関心を持ち、互いの違いを認め合いながら友好的に交流し、平和な世界の実現に努めようとする態度を育てることである。

児童の好きなNHK for Schoolの動画「パンタくん」を視聴し、異星人の観光客にパンタたちがおもてなしをする物語を通して、自分たちとは好みが違う人がいることに気づかせたい。

さらに、外国の人々や文化に関心をもてるように、外国語や総合的な学習の時間等の中で、外国の文化や慣習、人々の願いや気持ちを調べさせていきたい。